

学校だより

第10号



平成28年1月30日発行

今、学校では

校長 鈴木 久之^{ひさの}

新たな年が明け、子どもたちも元気に3学期をスタートすることができました。

この時期によく話にでてくるのは、1月は行く月、2月は逃げる月、3月は去る月ということで、早いものでもう2月になり、梅が膨らみ始めるころとなりました。

今、学校では、1年間の反省を「この内容は学部で」「こちらは係毎で」などと様々な角度から行っています。本年度も保護者の皆様に御協力いただいた「学校評価」のアンケート結果や御意見等は、反省を行う際の参考資料の一つとして、大変貴重な情報となっております。お忙しい中、「学校評価」のアンケートへの御協力に感謝申し上げます。

さて、教師の使命はやはり「一人一人のお子さんに合った授業」と「専門性の向上」に尽きると考えています。

お子さんは、この1年間で、どのようなところが、どれ位成長してくれたのでしょうか。そして、その成長にかかわった教師の学習内容や手立ては、最適なものだったのでしょうか。今、教師は個々に、または小グループで、その評価をしています。そんな時、頭に浮かぶことは、「啖啄の機」という言葉です。

「啖啄」とは、ひなが卵からかえろうとして、内側からつつき、もう少しで破れるというまさにその時に、親鳥が外側からほんのちょっとつついてあげること。



私たちは、「まさにそのとき、ほんのちょっと」というところを、保護者の皆様とともに追求し続ける教師集団でありたいと思います。

学校改善に向けた取り組み やまもも祭での保護者の感想

紙面の関係で、全ては紹介できないので、代表的な感想を紹介します。要望等については次年度に向けて検討していきます。

- ・今年初めて参観した父親は、子ども達の一生懸命な姿を見て感動していました。来年もぜひ家族みんなで来ます。
- ・今年度は、外部の来校者がとても多く感じました。本校(子ども達にも)に関心があるから来校してくれるのだと思います。外部との関わりを大切にして、学校のこと子ども達のことをさらに理解していただけたら嬉しく思います。
- ・ボランティアの子ども達への接し方がひどい方がいました。
- ・先生の子供達に対する指導や支援が不適切と思われる場面があり、冷たい態度に感じました。
- ・周辺の小中学校バザーと同じ日になっています。違う日になるように調整はできますか。
- ・やまもも合唱団の発表やグランドフィナーレでは、保護者席にイスを用意できませんか。
- ・休憩場所が食堂だけだったので、所々に座れる休憩スペースがあるといいと思いました。